

J F A 第45回全日本U-12サッカー選手権大会北海道 道南ブロック大会 開催要項

新型コロナウイルスの感染状況によっては、大会の日程変更等もあり得る事を十分に留意すること。

1. 主 旨 日本将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスベクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことを目指す。この趣旨を受けて、苫小牧地区サッカー協会として本大会を実施し、J F A 第45回全日本U-12選手権大会 北海道大会（2021年10月9日（土）から10日（日））に道南ブロック代表として出場するチームを決定する。
2. 名 称 第45回全日本U-12サッカー選手権大会北海道 道南ブロック大会
3. 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会
4. 主 管 苫小牧地区サッカー協会、苫小牧地区サッカー協会第四種委員会
5. 特別協賛 YKK（調整中）
6. 協 賛 花王、日清オイリオグループ、ゼビオ、日本マクドナルド、カバヤ食品（調整中）
7. 開催協力 モルテン(調整中)
8. 期 日 2021年9月23日（木祝）
9. 会 場 苫小牧市緑ヶ丘公園サッカー場
10. 参加資格
 - ① 「参加チーム」は大会実施年度に（公財）日本サッカー協会第4種に加盟登録したチーム（以下「加盟チーム」）であること。道南ブロック各地区(函館、室蘭、苫小牧)の予選を経て、所轄の地区協会が代表と認めたチームであること。
 - ② 上記「参加チーム」の構成は単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続して活動していること。
 - ③ 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手であること。（公財）日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。
 - ④ 「同一参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することは出来ない。
 - ⑤ 第四種年代の女子選手については（「クラブ申請」を承認された）同一クラブ内の他の「加盟チーム」から参加させることも可能とする。ただし、前項（3）は適用される。

- ⑥ 「参加チーム」及び「参加選手」は、各地区の代表となったチーム・選手とする。当該チームの地区大会への登録選手が20名に満たない場合は、「加盟チーム」内の選手の中から補充することができる。
- ⑦ 「参加チーム」はU-12リーグに参加していること。ただし、新型コロナウイルス感染症対応の影響により、所属するU-12リーグが開催されない場合、本項を適用外とする。
- ⑧ 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、ベンチ入りするチーム役員の内1名以上が(公財)日本サッカー協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。
- ⑨ 「参加選手」は健康であり、且つ保護者の同意を得ること。
- ⑩ 「参加チーム」は必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険等)に加入していること。

1.1. 参加チーム
及びその数

苫小牧地区、函館地区、室蘭地区の各予選を経て、代表となった各地区3チーム合計9チーム。

1.2. 大会形式

- ① 9チームを3チーム3グループに分けて、リーグ戦を行い、各グループ1位の3チームが北海道大会へ進出する。
- ② 順位の決定方法は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
 - 1, 当該チーム同士の対戦成績(勝敗)
 - 2, 全試合の得失点(総得点-総失点)
 - 3, 全試合の総得点
 - 4, ①~③の項目において同一の場合は、リーグ戦終了後にPK方式(3人)によって決定する。

1.3. 競技規則

大会実施年度の公益財団法人日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。

1.4. 競技会規定

① 競技のフィールド

競技のフィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)50mとする。その他ペナルティエリア等の長さに関しては8人制サッカールールに準ずる。(ペナルティエリア:12m ペナルティーマーク:8m ペナルティアーカの半径:7m) ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。※ゴールは競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない。交代ゾーン:自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける(ハーフウェーを挟んで3mずつ)

② ボール

モルテン社製『ヴァンタジオ5000キッズ(F4A5000)』とする。

③ 競技者の数

競技者の数：8名（8名に満たない場合は試合を行わず、得点を0対3として敗戦したものとみなす。試合中に怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する）

交代要員の数：8名以内

交代を行うことの出来る数：制限なし。交代して退いた選手は交代要員となり、再び出場することが出来る。

④ ベンチ入りするチーム役員の数：2名以上3名以下とする。

（これに反した場合には、チーム役員に対し、大会規律委員会より懲罰を科す）なお、1名以上が公益財団法人日本サッカー協会公認資格（D級以上）を有すること。

⑤ 審判員

主審、副審（2人）、第4審判の4名で運営する。

⑥ テクニカルエリアは設置する。

※その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を与えることができる。

⑦ 競技者の用具・ユニホーム

- 1, （公財）日本サッカー協会のユニフォーム規定に基づいたユニフォームを使用しなければならない。ただし、2以下については、一部本大会の緩和規定として採用する。
- 2, 本大会に登録した正・副2組のユニフォーム（シャツ・ショーツおよびソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。（正・副の2色については、明確に異なる色とする。※なお、大会主催者が認めた場合に限り、デザインやロゴが異なっても同系色のユニフォームであれば着用を可能とする。
- 3, 審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断した時は、両チームの立ち会いのもとに、その試合におけるユニフォームを決定する。また、その際は、登録された2組のユニフォームのうちからシャツ・ショーツおよびソックスのそれぞれについて判別しやすい組み合わせを決定することができる。（ゴールキーパーのみ、登録された4組のユニフォームから判別しやすい組み合わせを決定することができる。）
- 4, ゲーム進行時、ゴールキーパーがフィールドプレイヤーとなる場合（その逆の場合も）については、シャツの交換のみでもよいこととする。また、その場合、ゴールキーパーは、他の選手との判別がつくのであれば、ゴールキーパーとして登録しているユニフォームでなくてもよいものとする。
- 5, ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。
- 6, アンダーシャツ・タイツの色は問わないが、チーム内で同色のものを着用する。
- 7, 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
- 8, ユニフォームの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものとする。

⑧ 試合時間

- ① 試合時間は 40 分（前後半各 20 分）とする。ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）：原則 10 分間
- ② 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。
- ③ アディショナルタイムの表示：行う

⑨ 交代の手続き

- 1, 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。ただし、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。
 - 2, 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 - 3, 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。
 - 4, 交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。
 - 5, ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- ※交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

⑩ 負傷者の対応

主審が認めた場合のみ、最大 2 名ピッチへの入場を許可される。

15. 懲 罰

- ① 本大会の予選は懲罰規定上の同一の競技会とみなし、予選終了時で退場・退席による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。
- ② 本大会は、公益財団法人日本サッカー協会「懲罰規定」に則り、大会規律委員会を設ける。大会規律委員会の委員長は、苫小牧地区サッカー協会第四種委員長が務める。委員については委員長が決定する。
- ③ 本大会期間中に警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- ④ 本大会期間中において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置については本大会規律委員会において決定する。
- ⑤ 競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- ⑥ 本大会諸規定および本記載事項にない事項に関しては、大会規律委員会にて決定する。

16. 参加申込み

- ① 一次登録はチーム当たり26名（役員6名・選手20名）を最大とする。「参加チーム」は必要事項を記入し、参加申込書（一次登録）を以下に送付する。役員のうち1名を監督とする。
- ② 参加申込書・プライバシーポリシー同意書の提出
所定の用紙をEメールで申込先A宛に提出する。
※申込を受けた地区協会はKICKOFFにて登録状況を確認し、申込先BおよびC宛に申し込みデータを提出すること。
- ③ 大会参加料(12,000円)の納入 申込締切日までに下記指定口座に納入する。
- ④ 親権者同意書の提出 郵送で申込先B宛に送付する。
- ⑤ 選手変更・追加登録は、原則として認めない。

- ⑥ 参加申込締切 2021年9月17日（金） 16：00
- ⑦ 「参加チーム」は最終登録として1次登録した指導者6名の中から2名以上3名以下・選手20名の中から16名を、大会当日に配布されるメンバー表にて印をつけ試合開始の40分前までに大会本部に提出のこと。

【申込先】 A：所属地区サッカー協会

B：公益財団法人 北海道サッカー協会

〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41

北海道フットボールセンター内

TEL 011-825-1100 fax 011-825-1101

C：苫小牧地区サッカー協会

〒053-0022 苫小牧市表町3-1-12

TEL 0144-82-9561 Fax 0144-82-9562

Eメール tomakomai-jimu@honey.ocn.ne.jp

【大会参加料納入口座】

・大会参加料 12,000円（消費税込）

銀行名 苫小牧信用金庫 市役所出張所

口座名 苫小牧地区サッカー協会 会長 戸村 真規（トマ マサキ）

口座番号（普通）1002886

17. 参加料 12,000円
18. 選手証 出場チームは、(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。但し、写真添付により、顔の認識できるものであること。※選手証とは、WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す
19. 組合せ 2021年9月18日（土）苫小牧地区サッカー協会において決定する。
20. 帯同審判 ① 出場チームは公益財団法人日本サッカー協会審判員（3級以上）を帯同させること。帯同する審判員の氏名、資格等を参加申込書に記載すること。
② 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。（監督が帯同審判員を兼ねることはできない。）
③ 審判員を帯同できない場合は本大会に参加できないものとする。
21. 感染対策会議兼監督会議 ① 日時：令和3年9月23日（木）9時より（実施予定、実施しない場合は事前に連絡事項を展開いたします。）
② 会場：苫小牧市緑ヶ丘公園サッカー場 会議室
22. 開会式 行わない。
23. 閉会式 行わない。（各ブロック1位のチームへはトロフィー及び賞状を授与する。）

24. マッチウェルフェアオフィサー
すべての試合においてマッチウェルフェアオフィサーを配置する。
25. 新型コロナウイルス関連
① 本大会実施にあたっては、2021年3月15日、(公財)北海道サッカー協会発「新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン改訂版」を遵守し、関係者はチェックシートを会場運営担当者に提出する。
- ② 監督は大会期間を通じて各チームにおける感染対策担当者を務める。大会運営における感染対策担当者は苫小牧地区サッカー協会第四種委員長が務め、会場感染対策担当者を兼任する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、会場感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。
- ③ その他提出書類、当日の流れ等については別紙にて案内とする。
26. その他
① メンバー提出用紙は、選手証と合わせて試合開始40分前までに大会本部へ提出すること。
- ② 選手の資格に関して、その他、不都合な行為があった場合、そのチームの出場を停止する。
- ③ 代表権を得たチームは、令和3年10月9日(土)～10月10日(日)で開催される「第45回全日本U-12サッカー選手権大会北海道大会」への参加を義務づける。
- ④ 荒天・震災・落雷等、不測の事態が発生した場合は、実行委員会において協議のうえ対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。実行委員長については苫小牧地区サッカー協会第四種委員長が務め、委員については委員長が任命する。
- ⑤ 選手の保護者・関係者のマナー遵守(路上駐車、喫煙マナー、会場内での全ての言動、保護者・関係者を含めた「チーム内」において排出されるゴミ)については、チーム責任とする。
- ⑥ 帯同審判で大会を運営するので、各チームは審判割り当てを遵守すること。
- ⑦ 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。

以上